

令和3年度
大海小学校だより

3月号

おおみ

令和4年2月25日

校長 喜多 由紀

新しい形で!!～6年生を送る会～

春間近の季節になっても、新型コロナウイルス感染拡大状況は厳しく、冷え込む日が続きました。今まで多くの活動や行事が、新型コロナウイルス感染予防として縮小や中止となりました。しかし、今年度の6年生も、学校のリーダーとして「大海っ子たちが楽しい学校生活を送れるように、今できることをやろう」と考え、実行してきてくれました。



そこで、下級生たちは、お世話になった6年生に感謝の気持ちを伝えようと、劇やダンス等の練習や準備に一生懸命取り組みました。特に5年生は、話し合いを重ね、会がスムーズに進行できることを目指して取り組んでくれました。今回は、体育館で全学年が集まる形ではなく、全学年の出し物の録画映像や理科室からの司会進行の様子を、教室の大型テレビとタブレット端末で視聴する形にしました。初めての形でしたが、休んでいた児童も家庭で同時に視聴することができました。5年生の一生懸命な運営や下級生の温かい感謝のメッセージは、卒業する6年生にとって、新しい道へ進むための大きなエネルギーになったと思います。6年生から5年生へのリーダーとしてのバトンは、しっかりと渡せそうです。さらに5年生が自信を持てるように、6年生には、最高学年としての心構えを伝えてもらいたいと思います。辛く苦しいことがあっても乗り越えて活躍を見せてくれたオリンピック選手たちのように、『地域の宝』大海っ子たちが、逆境に負けず、これからも様々な活動や行事で、さらに成長できますよう、保護者の皆様、地域の皆様方にも、ご協力、ご支援よろしくお祈りします。



そこで、下級生たちは、お世話になった6年生に感謝の気持ちを伝えようと、劇やダンス等の練習や準備に一生懸命取り組みました。特に5年生は、話し合いを重ね、会がスムーズに進行できることを目指して取り組んでくれました。今回は、体育館で全学年が集まる形ではなく、全学年の出し物の録画映像や理科室からの司会進行の様子を、教室の大型テレビとタブレット端末で視聴する形にしました。初めての形でしたが、休んでいた児童も家庭で同時に視聴することができました。5年生の一生懸命な運営や下級生の温かい感謝のメッセージは、卒業する6年生にとって、新しい道へ進むための大きなエネルギーになったと思います。6年生から5年生へのリーダーとしてのバトンは、しっかりと渡せそうです。さらに5年生が自信を持てるように、6年生には、最高学年としての心構えを伝えてもらいたいと思います。辛く苦しいことがあっても乗り越えて活躍を見せてくれたオリンピック選手たちのように、『地域の宝』大海っ子たちが、逆境に負けず、これからも様々な活動や行事で、さらに成長できますよう、保護者の皆様、地域の皆様方にも、ご協力、ご支援よろしくお祈りします。

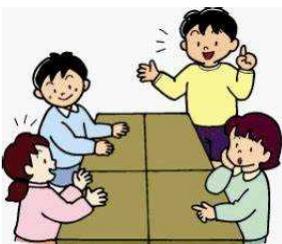


3月の生活目標・・・『一年間の生活をふり返ろう』

2月は、互いによさを見つける活動に取り組みました。「よさみつけ」の活動を行うことで、友だちの良いところを意識しながら生活する子どもたちが増えてきました。

3月は、これまでの取り組みをふり返り、一人ひとりが自分を見つめ直し、新しい学年に向けての目標をしっかりと持って欲しいと思います。そして、自分の課題を進んで改善しようと努力することができる大海っ子を目指してもらいたいと思います。

3月の学習目標・・・『学び合いについての目標』を各クラスで決めよう



3月は、『学び合い』について各学級で話し合い、クラス全員が意欲的に学習に参加できるように、特に頑張りたい目標を決めて取り組みます。「友だちの意見とつなげて」「友だちの意見と比べて」「友だちの考えをヒントに」等、いろいろな意見が出されることを期待しています。

『卒業記念品』(6年生より) ありがとうございます



『フラミンゴを祝福する動物達』

トンネルアートでお世話になったSHOGENさんの絵を寄付していただきました。ありがとうございます。大海っ子達には、教えていただいた自分らしく生きることの大切さを、これからも大事にしたいと思います。